

第一会場 第1フォレストホール

9:30 開会式・大会長挨拶

9:40～10:20 一般演題①痛み・症状緩和

座長：平塚 裕介（一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 緩和医療科）

O-01 直腸テネスマスに対してトラマドールが有用であった事例

演者：栗原 二葉（鶴岡市立荘内病院 緩和ケア内科）

O-02 乳癌の化学療法に伴う悪心・嘔吐に対し、ブロナンセリン貼付剤が奏功した若年女性の一例

演者：石岡 佳子（国立病院機構弘前総合医療センター呼吸器内科 / 国立病院機構弘前総合医療センター緩和ケアチーム）

O-03 痛みを常に NRS10/10と訴える患者への症状マネジメント

演者：佐井菜央美（国立病院機構弘前総合医療センター緩和ケアチーム / 国立病院機構弘前総合医療センター看護部）

O-04 悪性腸腰筋症候群による突出痛に対して PT（Physical Therapist）との協働が有効であった1例

演者：酒井 文子（三友堂病院 看護部）

10:20～11:00 一般演題③ ACP・意思決定支援

座長：杉本 侑孝（秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター）

O-09 当院緩和ケア病棟での PPS を用いた予後予測評価の取り組み
～看護師の意識調査を通して～

演者：佐藤 裕美（青森慈恵会病院）

O-10 意思決定に必要な支援とは何か
－患者の思いに寄り添う為のプロセスを考える－

演者：小西 悦子（岩手県立大船渡病院 看護科）

O-11 「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」に基づく当院における透析中止症例の報告

演者：伊藤 明人（岩手県立中部病院 泌尿器科）

O-12 難治性呼吸困難の患者の信念に寄り添ったケアを振り返る

演者：千葉久美子（一般社団法人慈山会医学研究所附属坪井病院）

11:00～11:40 **教育講演①**

座長：高橋 通規（仙台医療センター 緩和ケア内科）

「スピリチュアルケアはいつから必要か？～がん患者になって感じたこと～」

演者：谷山 洋三（東北大学大学院文学研究科）

11:40～12:20 **教育講演②**

座長：宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科 緩和ケア看護学分野）

「コミュニティ型こどもホスピスの必要性と宮城こどもホスピスプロジェクトの挑戦」

演者：名古屋祐子（宮城大学看護学群 小児看護学分野）

12:20～13:10 **ランチョンセミナー**

座長：児山 香（東北医科薬科大学病院 がん治療支援（緩和）科）

「がん患者とがんサバイバーにおけるオピオイド鎮痛薬の使い方」

演者：伊達 久（医療法人社団関通会 仙台ペインクリニック）

共催：塩野義製薬株式会社

13:15～14:15 **東北緩和医療研究会 総会**

司会：井上 彰（東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野）

**特別講演「緩和ケアの歴史が語るもの
～死にゆく人との支え合いの原点～」**

演者：神谷 浩平（一般社団法人MY wells 地域ケア工房 代表 / 緩和医療専門医）

特別発言：中保 利通（医療法人社団やまと やまと在宅診療所名取）

記念品贈呈式

東北緩和医療研究会閉会宣言

14:15～15:30 **シンポジウム**

座長：猪狩 智生（東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野）

「東北の緩和医療の未来を語ろう」

演者：五十嵐江美（国立がん研究センター東病院）

佐藤 悠子（医療法人社団爽秋会 岡部医院仙台）

杉山 育子（東北大学病院 緩和ケアセンター）

平塚 裕介（一般財団法人竹田健康財団 竹田綜合病院 緩和医療科）

16:00～17:00 **市民公開講座（中継）**

17:15～

表彰式・次期大会長挨拶

閉会式・大会長挨拶

第二会場 第2フォレストホール

9:40～10:20 一般演題②在宅ケア・患者支援

座長：高林 広明（医療法人社団爽秋会 岡部医院仙台）

- O-05 “緩和ケアを文化に”：市民×医療者協働による情報アクセスとスティグマを打破する仙台での実践例**
演者：田上 恵太（悠翔会くらしケアクリニック練馬 / 東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野 / 一般社団法人 IPP 研究会）
- O-06 組織の壁を越え、地域全体で緩和ケアスキルアップ！：練馬区緩和ケア”ヨコテンカイ”が紡ぐ輪**
演者：田上 恵太（悠翔会くらしケアクリニック練馬 / 東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野 / 一般社団法人 IPP 研究会）
- O-07 特発性肺線維症患者の退院支援・調整をふりかえる
－在宅で高流量鼻カニューラ酸素療法を導入して－**
演者：山崎 弘美（一般社団法人慈山会医学研究所附属 坪井病院緩和ケア病棟）
- O-08 ホスピス型住宅と在宅療養支援診療所による患者カンファレンスの取り組み**
演者：幸田江里子（やまと在宅診療所あゆみ仙台）

10:20～11:00 一般演題④看護・家族ケア・遺族ケア

座長：長澤 昌子（岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター）

- O-13 市民へのグリーフサポートの普及・啓発を目的としたグリーフ・フェスの開催**
演者：青山 真帆（山形県立保健医療大学 大学院保健医療研究科）
- O-14 膠芽腫終末期で高次機能障害がある患者の家族の支援**
演者：白木成累美（東北大学病院 看護部 西17階病棟）
- O-15 A 病院緩和ケア病棟の遺族会活動報告**
演者：星 真由美（東北大学病院 看護部 西17階病棟）
- O-16 がんサバイバー、ケアギバー、遺族、支援者が協働するリレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎの活動報告**
演者：佐藤 悠子（医療法人社団爽秋会 岡部医院仙台 緩和ケア内科 / リレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎ 実行委員会）

11:00～11:40 一般演題⑤緩和ケア全般

座長：珠蘭其其格（東北労災病院 緩和ケア内科）

- O-17 乳癌骨転移に投与した骨修飾薬により生じた顎骨壊死に対して三叉神経節パルス高周波療法（PRF）が奏功した一例**
演者：鈴木 陽子（仙台ペインクリニック）

**O-18 メサドン併用下に発症した悪性症候群の一例：
薬物治療を行わず回復した症例**

演者：鈴木 尚樹（山形県立中央病院 緩和医療科）

O-19 消化管閉塞にて食事制限のあるがん患者と管理栄養士の関わり

演者：齋藤 南美（東北労災病院 栄養管理室 / 東北労災病院 緩和ケアチーム）

O-20 胃癌出血に対する止血目的の緩和的放射線治療についての検討

演者：鈴木 清寿（東北医科薬科大学病院がん治療支援（緩和）科 / 東北医科薬科大学医学部放射線医学教室）

11:40～12:20 一般演題⑥研究・活動報告

座長：細野由希子（八戸市立市民病院 緩和医療科）

O-21 地方がん専門病院におけるデスカンファレンスの開催に向けた運用整備および活動報告

演者：佐々木晴美（独立行政法人 宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター 看護部 緩和ケア病棟）

O-22 IPOS 導入における当院緩和ケア病棟の実際と今後の課題

演者：原田 昭子（地方独立行政法人 市立秋田総合病院）

**O-23 終末期がん患者の温泉利用に関する研究
～玉川温泉における事例報告～**

演者：杉山 純子（一般社団法人玉川温泉研究会）

O-24 緩和ケア病棟への薬剤師常駐による薬学的介入の実践

演者：山寺 文博（みやぎ県南中核病院 薬剤部）

12:20～13:10 ランチョンセミナー（中継）

13:15～14:15 東北緩和医療研究会 総会（中継）

14:15～15:30 シンポジウム（中継）

16:00～17:00 市民公開講座

座長：木村 祐輔（岩手医科大学 緩和医療学科）

「市民から広めよう！診断時からの緩和ケア」

演者：井上 彰（東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野）

共催：東北がんネットワーク